

医師主体に、血液生化学検査、乳房炎検査等の簡易な検査依頼から、血液抗体検査、ウイルス分離等の高度な検査依頼まで幅広く利用され、地域診療の核として診療の迅速化、効率化及び集団衛生管理技術提供に貢献している。

今後も、検査依頼内容の多様化に即した診断技術の高度化に対応するため、適切な検査機器等を整備し、その利活用については充分配慮する事とする。

また、当地域における受精卵移植技術の提供は、受精卵供給センターを中心に実施されているため、最新知見や技術提供に必要な診療施設、機器等については、サブセンターである家畜保健衛生所を中心に、一括して整備を促進することとする。

オ 天草地域

天草地域の主要な家畜は、繁殖牛を主体とする黒毛和種肉用牛、乳用牛及び豚であり、肉用牛では、消化器病、呼吸器病及び繁殖障害等の発生が、乳用牛では、乳房炎、周産期の疾病、運動器病等の発生が、さらに、豚では、呼吸器病を主とする慢性疾病の発生が、増加の傾向にあり、これらに対する的確な獣医療の提供が必要となっている。当地域は、個人開業を中心に、経済連支所及び県酪連の獣医師による往診診療により獣医療が提供されているが、診療機器を有する県酪連診療施設等からは、地理的に遠いのが若干問題である。また、高度な診療機器等の整備は、家畜保健衛生所を中心に、その診療施設、機器等の利活用を促進することとし、個人開業の診療施設については過剰投資にならないよう配慮し、必要に応じて超音波診断装置、簡易な血液生化学検査機器、細菌培養装置等、診療の迅速化、効率化及び集団衛生管理技術を提供する上で必要な施設、機器等の整備を促進する。また、受精卵移植技術の提供については、個人開業を中心に盛んに実施されており、今後も、その需要の増加が見込まれることから、家畜保健衛生所における技術提供に必要な診療施設、機器等の整備を促進する。

より、診療体制が弱体化しつつある。従って、新規参入者や、既存の施設で複数の獣医師体制を目指す診療施設に対して、診療の迅速化、効率化及び集団衛生管理技術を提供する上で必要な診療施設、機器等の整備に努める。また、複雑になってきている疾病診断の中心的役割を果たす、家畜保健衛生所や家畜共済診療所、民間施設など広域診療施設を中心に高度診断技術に必要な機器や受精卵移植技術関連の新技术に対応する機器等の整備に努めるものとする。

イ 城北地域

城北地域は、各畜種とも県内における飼養頭羽数のシェアが最も高く、今後とも飼養頭羽数の増加が見込まれる地域である。乳用牛では、周産期病、乳房炎及び運動器病等が、肉用牛では、繁殖障害及び呼吸器病等が多い傾向にあり、養豚では経営規模の拡大が進展するなかで、慢性疾病への対応が急務となっている。また、これらに対する的確な獣医療の提供が必要となっており、細菌培養装置及び血液成分分析装置等、農家毎の乳房炎検査や代謝プロファイル検査等の予防診断による診療の迅速化、効率化及び集団衛生管理技術を提供するうえで必要な診療施設、機器等の整備とその効果的な利活用を促進する。また、受精卵移植技術の提供も早くから民間主体に盛んに実施されている。今後ともその需要は増加することが見込まれることから、団体・農協を主体に技術提供に必要な診療施設、機器等の整備に努めるとともに、その他をカバーしている受精卵供給センターの整備に努める。

ウ 阿蘇地域

阿蘇地域は、肉用牛が主体で、放牧を中心とした飼育形態である。主要な疾病は、繁殖障害、運動器病等が、また、子牛では、消化器病、呼吸器病、ピロプラズマ病等の疾病が増加の傾向にある。さらに、農用繁殖馬の飼養も多く、繁殖障害、運動器病等の疾病が多発していることから、これらに対する的確な獣医療の提供が必要となっている。また、当地域は、個人開業獣医師の診療が主体であることから、高度な診療機器等の整備は、家畜保健衛生所を中心に、その利活用については充分配慮することとし、共済組合、個人開業診療施設については、過剰な設備投資にならないよう配慮し、必要に応じて超音波診断装置、自動血球計算機及び簡易な血液生化学検査機器等については受精卵供給センターの技術的バックアップを背景に移植業務を中心として盛んに実施されており、今後とも、その需要は増加することが見込まれることから、農協、共済等の地域受精卵移植協議会の中心機関に技術提供に必要な施設、機器の整備に努めるものとする。

エ 城南地域

城南地域は、肉用牛、乳用牛及び豚の経営が主体である。肉用牛では、呼吸器病、消化器病及び繁殖障害等、乳用牛では乳房炎、周産期疾病及び代謝性疾病等、さらに、豚では呼吸器病及び消化器病等の慢性疾病の発生が依然多発していることから、これらに対する的確な獣医療の提供が必要である。当地域では、高度な検査機器等の整備は家畜保健衛生所を主体に整備し、これを利用してもらうことで個人開業等の診療施設に過剰な負担をかけないよう配慮してきた。その結果、当地域においては、家畜保健衛生所が、産業動物を対象とした獣